

**平成23年度決算状況**  
**「あきる野市土地開発公社」**  
**「株式会社秋川総合開発公社」**  
**「新四季創造株式会社」**

**あきる野市土地開発公社**  
 あきる野市土地開発公社は、「公有地の拡大の推進に関する法律」に基づき、市の全額出資で設立された資本金500万円の法人です。公有地等の取得、管理、処分などを行うことにより、地域の秩序ある整備と市民福祉の増進に寄与することを目的としています。

の健全化に関する計画に沿って、保有する土地の簿価総額の縮減を図るため、土地の処分を進めています。平成23年度は、面積272.74平方メートルの土地を処分しました。

また、現金と預金が227.9万円です。一方、負債総額は42億4500万円です。この結果、差引正味財産は28.96万円です。

出資団体は、あきる野市、あきる野商工会、秋川農業協同組合などです。なお、発行済株式総数2000株のうち、1100株をあきる野市が保有しています。

どの流動資産が447.9万円、建物などの固定資産が1億7602万円です。負債は、預り保証金などの流動負債が97.43万円、固定負債では長期借入金などが4201万円です。この結果、差引正味財産は813.7万円です。

設立に際して発行した株式総数400株のうち、204株をあきる野市が保有しています。

**あきる野市土地開発公社 貸借対照表**

(資産の部) 流動資産	42億7396万円
(負債の部) 流動負債…①	42億4500万円
(資本の部) 資本金+準備金…②	2896万円
負債・資本合計 (①+②)	42億7396万円

**(株)秋川総合開発公社 貸借対照表**

(資産の部) 流動資産+固定資産	2億2081万円
(負債の部) 流動負債+固定負債…①	1億3944万円
(純資産の部) 株主資本…②	8137万円
負債・純資産合計 (①+②)	2億2081万円

**新四季創造(株) 貸借対照表**

(資産の部) 流動資産+固定資産	1億1563万円
(負債の部) 流動負債…①	5985万円
(純資産の部) 株主資本…②	5578万円
負債・純資産合計 (①+②)	1億1563万円

貸借対照表は、決算時点(平成24年3月31日)で公社(会社)が保有する資産、負債などの財政状況を示したものです。

市債の残高

市債の目的		市債の現在高	
一般	教育債(学校や図書館などの整備のために)	46億5183万円	
	衛生債(保健センターなどの整備のために)	32億627万円	
	土木債(道路などの整備のために)	23億6183万円	
	総務債(庁舎建設などのために)	20億5786万円	
	商工債(観光施設などの整備のために)	14億346万円	
	消防債(消防施設の整備のために)	1億4666万円	
	民生債(児童館などの整備のために)	1億4009万円	
	計	臨時財政対策債 <sup>1</sup> (財源確保のために)	96億8906万円
		減税補てん債 <sup>2</sup> など(財源確保のために)	21億8242万円
	計		258億3948万円
下水道事業特別会計(下水道の整備のために)		251億2119万円	
合計( )		509億6067万円	
平成22年度末残高( )		518億4702万円	
年度末残高の増減( - )		8億8635万円	

- 1 臨時財政対策債とは、国から地方公共団体に分配する地方交付税が足りないため、その不足する金額の一部を借り入れる市債で、その元利償還金は後年度に地方交付税として措置されます。
- 2 減税補てん債とは、国の減税政策による個人住民税などの減収を埋めるために借り入れる市債で、その元利償還金は後年度に地方交付税として措置されます。

(参考) 一部事務組合の借入金などで、当市が将来的に負担すべき額

区 分		現 在 高
一部事務組合	阿 伎 留 病 院 組 合	47億5293万円
	西 秋 川 衛 生 組 合	3億8230万円
	秋 川 流 域 斎 場 組 合	2億8570万円
	秋 川 衛 生 組 合	0円
あきる野市土地開発公社(簿価残高)		42億5117万円
合計( )		96億7210万円
平成22年度末残高( )		100億4464万円
年度末残高の増減( - )		3億7254万円

**平成23年度決算に基づく健全化判断比率と資金不足比率**

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」により、市の財政の健全性を判断する指標として、毎年、決算に基づく健全化判断比率と資金不足比率を算出し公表することが義務付けられています。

健全化判断比率

実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率の4つの指標があり、いずれかが国の定める早期健全化基準や財政再生基準以上となった場合は、財政健全化に向けた計画を策定することが義務付けられています。

あきる野市は、いずれも基準以下となりました。実質赤字比率 一般会計

健全化判断比率 (単位: %)

区 分	あきる野市	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	-	12.70	20.00
連結実質赤字比率	-	17.70	30.00
実質公債費比率	7.6	25.0	35.0
将来負担比率	76.0	350.0	

実質赤字比率と連結実質赤字比率は、実質赤字がないため「-」と表示しています。

資金不足比率 (単位: %)

区 分	あきる野市	経営健全化基準
下水道事業特別会計	-	20.00

資金不足がないため「-」と表示しています。

金の残高)の標準財政規模に対する比率

不足額に対する事業の規模(料金収入)の比率です。あきる野市では下水道事業特別会計が該当しますが、基準以下となりました。

流動負債で59.85万円です。この結果、差引正味財産は557.8万円です。